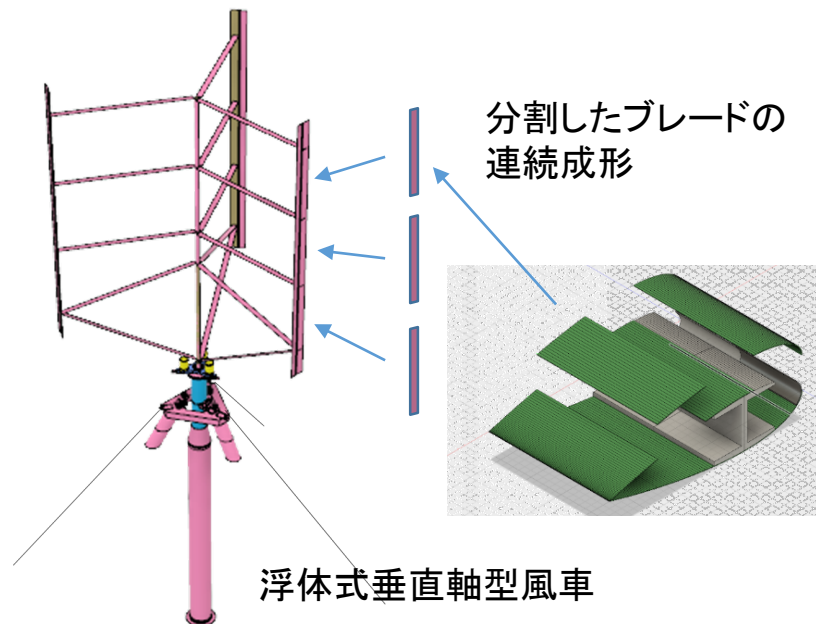


# T-d 大型パネル（風カブレード）

社会実装の姿

金沢工業大学



## ターゲットユーザー

- ・洋上風力発電事業者
- ・離島等の独立電源
- ・環境指向の電力消費者

## ユーザーベネフィット

- ・洋上風力発電の低コスト化
- ・大型化による経済性向上

## 差別化のポイント

- ・連続成形に適したブレード
- ・軽量・低重心風車ローター
- ・浮体が回転する単純構造

## フェーズⅡの成果

### 大学での成果

- ・JST/A-STEP シーズ顕在化プログラムによるFS(水槽実験、実機コスト推定)
- ・風車部コスト推定で、アルミ、GFRPよりもCFRP(ラージトウ)が総合的に低コスト(軽量化メリット大)
- ・設備費推定は従来型から50%削減

### 企業での成果



ブレード断面モデル



水槽模型

進捗状況	原理・検証	技術開発	実証・事業化前
(開発ステージ)		○	

## フェーズⅢ以降の取組

外部資金の活用により、数kWタイプを洋上でフィールドテストを実施。その結果より、数十kWから百kWタイプにシステムの拡大と共に革新製造技術による翼の大型化も目指す。